

令和6(2024)年度日本歴史研究コース授業計画

授業名	資料の調査と活用				
担当教員	坂本、日高、小倉、川村、上野、三上				
授業概要	博物館等において取り扱う多様な資料にどのようにアプローチするか、その視点と方法について学ぶ。また、実際に資料に接し、それらが持つ特性と状態に即して分析、検討を進めていくための基本的な視座を、体験を交えて獲得する。				
教育目標・目的	<ul style="list-style-type: none"> 資料の取り扱いについて様々な学問分野のアプローチ法が説明できる。 実際の資料に関して、分析・検討のための基礎的視座を獲得できる。 自然科学的手法も用いた歴史資料分析の実際について理解できる。 				
成績評価	授業貢献度(50%)、レポート(50%)				
授業計画	1. (坂本) 自然科学的な年代測定	9.			
	2. (日高) 美術工芸資料の調査方法	10.			
	3. (小倉) 典籍史料の調査法	11.			
	4. (川村) 映像による調査・保存・活用	12.			
	5. (上野) 考古遺物の調査	13.			
	6. (三上) 出土文字資料の研究手法	14.			
	7.	15.			
	8.				
実施場所	大学院演習室、資料調査室、年代実験室	使用言語	日本語		
前期・後期の別	前期	対象年次	3, 4, 5	単位数	1単位
教科書・参考図書	教科書は指定しない。参考図書は授業の都度、提示する。				
備考	授業計画は順不同。2024年7月31日(水)～8月2日(金)の3日間を予定。				